

平成 2 2 年度 駒里小中学校学校 自己評価・学校関係者評価報告書

校長名	野原大紀
作成日	平成 23 年 2 月 8 日

1. 学校の教育目標

やさしい子 進んで学ぶ子 元気な子	広い心を持ち、人と自然を愛する子ども 自ら進んで学びとる子ども 健康な心と身体をもった元気な子ども
-------------------------	---

2. 学校の経営方針

<p>(1) 小中併置校の特性・長所を生かし、小中の独自性を尊重しながら小中一貫教育を進めることに努める。</p> <p>(2) 職員相互の信頼と和を大切に、協働の意識に基づいた学校運営に努める。</p> <p>(3) 校務分掌の共同体制と責任ある業務執行に努める。</p> <p>(4) 諸事務の適正かつ迅速な処理及び適切な文書管理に努める。</p> <p>(5) 学校予算・旅費は年間を見通した計画に基づき適切に執行する。</p> <p>(6) 教職員一人ひとりの意欲と創意を生かす研修体制を確立し、共通の課題意識を持って実践を進める。</p> <p>(7) 豊かな心を育む、うるおいのある教育環境の整備にあたる。</p> <p>(8) 保護者・地域との連携による開かれた学校教育の推進に努める。</p>
--

3. 本年度の重点

<p>(1) 互いに他を尊重し、思いやりのある心を育てる。</p> <p>(2) 基礎・基本を定着させ、確かな学力を身につけさせる。</p> <p>(3) 教師が自ら学び「授業力」を向上させる。</p>	学校関係者評価の結果	
	目標設定の適切さ	【本年度の重点目標についての意見等】 ・ 3 点に絞り適切に設定されている。
	A	

4. 学校評価の方法

<p>校内評価委員会による検討</p> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間反省 (7 月) ・ 年度末反省 (1 2 月) ・ 保護者・児童生徒によるアンケート (1 2 月) <p>学校関係者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係者評価委員会 (6 月、1 月) ・ 学校行事、授業参観 	学校関係者評価の結果	
	評価方法の適切さ	【学校評価の方法についての意見等】 ・ 評価方法は適切である。
	A	

5 . 自己評価・学校関係者評価の結果と改善の方向

No	自己評価の結果				学校関係者評価の結果	
	大項目	評価項目	達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切さ	自己評価項目、取組の適切さ、自己評価の結果に基づく改善の方策についての意見等
		小項目				
1	学校経営	小中の独自性を尊重しながら、小中併置校の特性・長所を生かした学校経営を推進している。	A	A		・小中一貫教育のよさが見られる。
		「開かれた学校」を推進するため家庭や地域に向けて様々な情報を提供している。	B	B		
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・9年間の教育という原則のもと、学習指導、生徒指導に努める。 ・学校行事での小中合同の取組を継続する。 ・職員会議での小中交流を継続する。 ・ホームページ、ブログの定期的更新に努める。	【改善の方策を進める上での工夫】 ・学校公開日を設け、地域の方にも授業を公開してほしい。			
2	研修活動	校内研究が計画的に進められ、個々の教員の授業力向上に努めている。	B	A		・評価をするために、研究会参加の成果がわかる資料があるとよい。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・授業交流を通し研究内容を深める。 ・積極的な研修会参加を継続し、授業力向上に努める。	【改善の方策を進める上での工夫】 ・小中合同による授業交流等今年度の取組を継続してほしい。			
3	教育課程	地域や学校の特性を生かし、創意ある教育課程を編成している。	B	B		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・新学習指導要領完全実施に向けて指導計画の作成をする。 ・小学校、中学校、それぞれ全学年合同で行う教科や指導内容を見直す。 ・行事を精選し、授業時数確保に努める。	【改善の方策を進める上での工夫】 ・行事は精選しつつも、小中併置のよさを生かすようにしてほしい。			
4	学習指導	確かな学力をつけるため、個に応じた指導法で基礎・基本を身に付けさせ自ら学ぶ力を育てる授業を展開している。	B	A		・児童生徒の実態にあった指導を行っているので、達成状況はBではなくAでよい。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・児童生徒の実態把握に努め、実態に沿った授業を展開する。 ・強化学習等個別指導の充実を継続する。	【改善の方策を進める上での工夫】 ・授業はもちろん長期休業中の強化学習を継続してほしい。			

5	道徳教育	思いやりの心や規範意識を育む道徳教育を進めている。	B	B		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・全教育活動の中で道徳性を育むよう指導するとともに、「道徳の時間」の充実を図る。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・「道徳の時間」はもちろん学校生活のあらゆる活動を通し、心を育ててほしい。	
6	特別活動	よりよい学校生活を送るため自主的な児童会・生徒会活動の充実に努めている。	A	A		・少人数でも活発に活動している。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・児童生徒数減のため、児童会・生徒会の組織・活動内容の見直しをした。 ・運動会、学校祭等の行事への取組を通して自主性やリーダー性を育てることを継続する。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	
7	総合的な学習の時間	地域の特色を生かし、体験を取り入れた探求的な活動を進めている。	B	A		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・指導計画を見直しを図るとともに、地域素材や人材の活用を継続する。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	
8	生徒指導	子どものことをよく理解し人間的なふれあいを大切にした生徒指導を進めている。	A	A		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・職員会議での児童生徒交流を継続し、全教職員が情報を共有する。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・少人数であっても、いじめ等無いように児童生徒を見てほしい。	
9	健康・安全教育	児童生徒の健康や安全に留意した教育活動を進めている。	B	B		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・今年度作成した食育、性教育の実践を深める。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	

10	特別支援教育	配慮を要する児童生徒について全教職員の共通理解を深め、指導にあたっている。	A	A		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・校内特別支援教育委員会の定期的開催を継続し、全教職員の共通理解を深める。 ・市のコーディネーター活用を継続する。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	
11	キャリア教育	学ぶことや働くことの意義や役割を理解するための教育活動を進めている。	A	A		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・総合的な学習の時間を活用したキャリア教育を継続する。 ・一人ひとりに応じた進路指導を継続する。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	
12	ふるさと教育	地域の人材や素材を活用した特色ある教育活動を進めている。	A	A		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・総合的な学習の時間、生活科を中心に地域素材や人材の活用を継続する。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	
13	今日的な教育課題	新学習指導要領完全実施に向けての対応を適切に進めている。	B	B		・特になし。
		【自己評価に基づく改善の方策】 ・新学習指導要領完全実施に向けて指導計画の作成、行事の見直しを進める。 ・新しい学習評価の研修を進める。			【改善の方策を進める上での工夫】 ・自己評価に基づく改善の方策通り進めてほしい。	

A：十分達成している B：達成している C：少し不十分である D：不十分である
 評価の適切さ 適切 やや不十分 × 不十分

6. 今後の方向性についての校長の所見

今年度は教育目標達成のため、重点を1.基礎学力の定着、2.豊かな心の育成、3.教師の指導力の育成の3つに絞り取り組んできた。これらの内容の実践課題を明らかにして経営プログラムを作成し、教職員の意識を高め、重点目標達成に取り組み、成果を上げることができたと考える。その結果、保護者のアンケートでも学校の取り組みに高い評価を得ることもできた。各項目の個々の課題については、小規模校・地域の特性を生かし、児童・生徒一人ひとりに対応した教育の推進を図り解決していきたい。